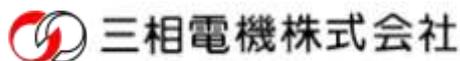


平成23年度(第55期)  
**第2四半期決算説明資料**

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)



平成23年11月24日

## 目次

### 1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 収益関連指標	5
(5) 総資産・純資産	6
(6) 配当政策	7
(7) 利益配分の方針	7

### 2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10

## 1. 決算の概況

### (1) 損益計算書、貸借対照表の概略(連結)

(単位:千円)

	平成22年度 中間	平成23年度 中間	前期比(%)
売上高	4,751,301	6,329,233	133.2
営業利益	123,673	387,680	313.5
経常利益	104,956	382,739	364.7
四半期純利益	90,691	472,192	520.7

(単位:千円)

	平成22年 中間期末	平成23年 中間期末	増減
資産	8,976,758	10,608,250	1,631,492
負債	3,838,954	5,034,928	1,195,974
純資産	5,137,803	5,573,322	435,519
負債純資産	8,976,758	10,608,250	1,631,492

当社グループにおいては、東日本大震災の影響も軽微であり、また各業界では市場が回復基調で推移したこともあり、第2四半期累計期間の業績は、前年同期と比べ大幅に増加。尚、四半期純利益については、退職年金制度変更に伴い1億7百万円の退職給付制度改定益を特別利益に計上しているため増加。

2

### (2) 事業の取り組み内容について

#### 営業

- ・低消費電力となるDC(直流)ポンプおよびモータの拡販
- ・新規分野への市場開拓を進める。

#### 製造、購買

- ・東日本大震災以後サプライチェーンの見直しを図り、更なるグローバル調達を進める。
- ・生産管理プロジェクトの推進により、短納期生産体制を進める。
- ・一時的な需要拡大に伴い、派遣社員の採用や、交替勤務を実施するなど生産能力拡大を図る。

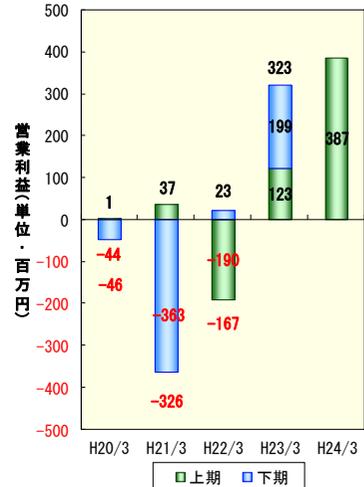
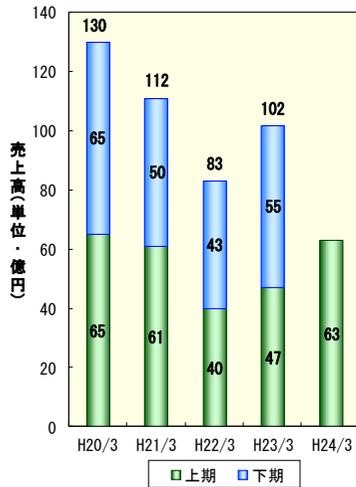
#### 研究開発

- ・環境にやさしい省エネ、低騒音の製品開発推進  
(小型・低消費電力となる高効率モータの開発)
- ・ペーンポンプなど、新たな製品開発に挑戦

3

### (3) 売上高および営業利益の推移(連結)

- ・売上高においては、大幅に落ち込んでいた工作機械業界の市場が徐々に回復、また半導体製造装置業界においても好況が続いたことにより、受注は増加傾向で推移した。
- ・営業利益においては、売上高の増加要因やコスト削減効果などにより増加傾向で推移した。

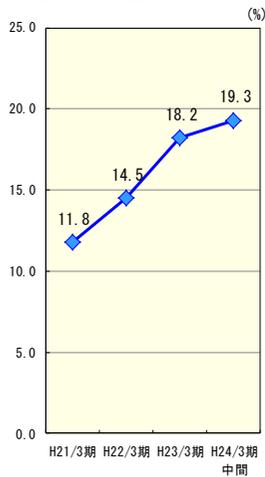


4

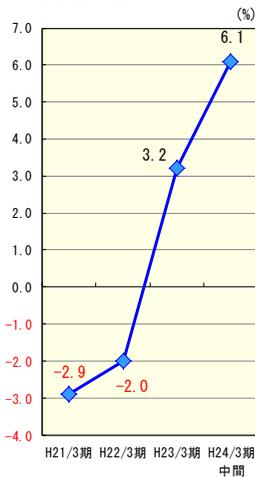
### (4) 収益関連指標(連結)

- ・売上高の増加要因により各指標とも改善される。

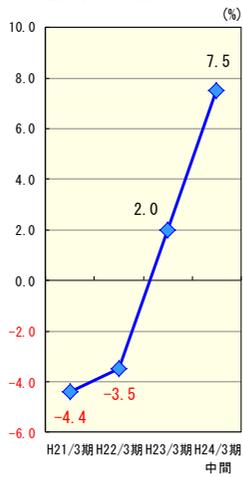
#### ◆ 売上総利益(率)



#### ◆ 営業利益(率)



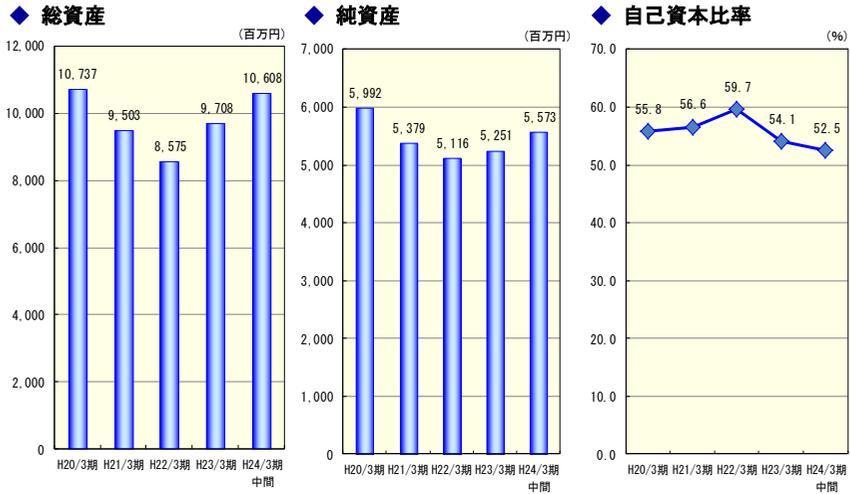
#### ◆ 当期純利益(率)



5

## (5) 総資産・純資産(連結)

・受注増加により流動資産の受取手形、売掛金及びたな卸資産が増加。同様に、流動負債の支払手形及び買掛金が増加となる。



6

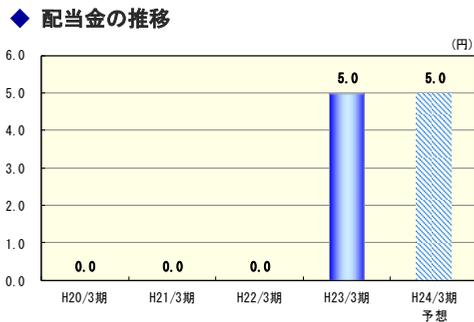
## (6) 配当政策

利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

## (7) 利益配分の方針

平成24年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきます。

次期の配当については、現状の業績や新工場の設備投資計画を考慮して1株につき年5円00銭を予定しております。今後更に、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めていきます。



7

## 2. 今後の取り組みについて

### (1) 経営環境

#### 経済状況

- ・ 東日本大震災の影響から景気は回復の兆しが見られるものの、海外経済では景気が下振れするリスクが高まり、景気の先行きは依然として厳しい状況で推移するものと考えられる。

#### 業界動向

- ・ 家電業界では、電気の供給問題により、低消費電力となるエコ商品への要望が高まる。
- ・ 工作機械装置業界では、穏やかな回復基調の状況が続く。
- ・ 住宅設備関連業界では、被災地での復興需要が考えられるが、その他の地域においては、緩やかな状況で推移するものと考えられる。
- ・ 半導体製造設備業界では、好況な状況から一転して急激に市場は冷え込む。

8

### (2) 諸施策

#### 営業

- ・ 低消費電力となるDC(直流)ポンプおよびモータの拡販
- ・ 新規分野への市場開拓を進める。

#### 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図る。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。
- ・ 生産性向上並びに物流の合理化を目的に新工場の建設を進める。  
(平成23年4月28日付開示)

#### 研究開発

- ・ 低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・ 国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

#### 品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・ 受入検査の厳格化により不適合部品の混入を防ぐ。

#### 事業拡大

- ・ 中国企業との業務提携により事業拡大を図る。  
(平成23年7月20日付開示)

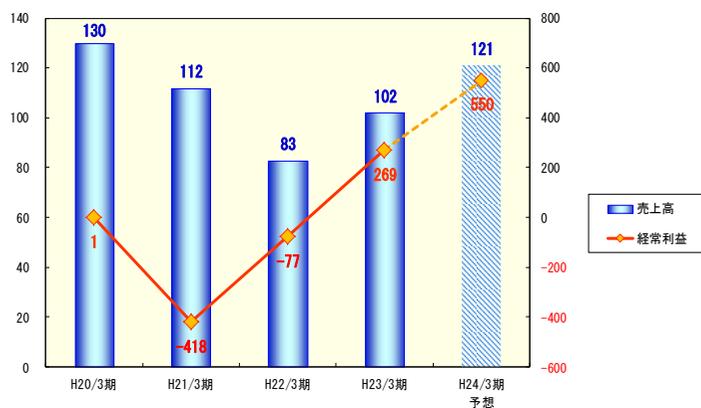
9

### (3)業績の見通し(連結)

連結：売上高について今後は、半導体製造装置業界などの一部の業界では市場の冷え込みにより、第3四半期以降の受注は減少が見込まれる。

利益面について、前述の売上高の減少要因により、第3四半期以降については収益性の低下が見込まれる。

#### ◆ 売上高・経常利益



10

### おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成23年11月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

#### お問い合わせ先

三相電機株式会社  
統括管理部 経理課 経営企画係

〒671-2288  
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号  
TEL 079-266-1200  
FAX 079-266-1206  
E-mail sanso@sanso-elec.co.jp

11